

平成三十九年度

文学部 歴史学科

推薦入試 小論文問題

〔注意〕

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所に入記すること。
- 4 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入すること。
- 5 この冊子の問題は余白を含めて二頁からなっている。
- 6 この冊子のうち、落丁・乱丁及び印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 7 この問題の内容に関する質問には答えない。
- 8 試験開始後六十分を経過しないと退室できない。また、試験終了前十分間は退室できない。退室するときには、手をあげて申し出た上で、試験監督者の指示に従うこと。なお、解答用紙は机上に置き、その上に試験監督者が配付する用紙を重ね、問題冊子は持ち帰ること。

【設問】

この文章を読んで、「歴史を書き残す意味」について、具体例をあげながら八〇〇字以内で論じなさい。なお、句読点やカッコ、数字はそれぞれ一字として数える。(配点 一〇〇点)

(著作権の関係で掲載しておりません)

(著作権の関係で掲載しておりません)

(勝俣鎮夫『中世社会の基層をさぐる』山川出版社、二〇一一年、初出二〇〇七年)